

市民の暮らし守れないと、39議案に反対

——市議会3月定例会で日本共産党議員団——

3月議会に提案された議案、報告、決議など113件のうち、日本共産党議員団は39件に反対したことは、すでにお知らせしたとおりです。そのそれぞれについて、議案の内容や反対理由などを詳しくお知らせいたします。

平成25年度上越市一般会計予算

市民の利用する多くの施設の廃止や民間譲渡、行政の窓口の縮小など、「行政のリストラ」が今回の予算の特徴であり、具体的には次のような問題点があります。

- ① 総合事務所の産業建設グループの集約を試行する体制を前提にしている。
- ② 小中学校での給食の民営化路線がひきつづき拡大強化されている。
- ③ 高齢者の福祉施設などの廃止や民間譲渡のもとになる予算措置である。
- ④ (仮称)厚生産業会館の建設を、十分な市民合意抜きで推進している。
- ⑤ 生活道路など、市道の改良事業は、市民要望のごく一部しか実施しない。
- ⑥ 全国ではすでに終了している同和対策予算が依然として計上されている。
- ⑦ 緊急ショートステイ限度額超過額に対する助成制度で、極端な所得制限を設けている。
- ⑧ 介護保険サービス利用者負担金等の助成対象の所得制限を強化している。
- ⑨ 公立保育園では、担任保育士ですら多くの非正規職員に依拠している。

平成25年度国民健康保険特別会計予算

県内でも上位に位置する保険料は引き上げこそしないものの、高止まりのままです。また、人間ドック受診者への補助

を半減させる計画です。

平成25年度介護保険特別会計予算

全国で3番目という高い介護保険料の引き下げへの対策がありません。また、認知症対応型グループホーム入所者への助成制度の新設など積極的取り組みはあるというものの、1000人をはるかに超える待機者の解消への抜本的な取り組みが明確ではありません。

平成25年度後期高齢者医療特別会計予算

「これ以上高齢者をいじめないでほしい。生活費が足りなくてとても払えない」という声が毎日のように寄せられている中、希代の悪法「後期高齢者医療制度」を前提とした予算であり、制度改革を求める姿勢が見られません。

グループハウス条例の一部改正、介護予防拠点施設条例の一部改正、生活支援ハウス条例の一部改正等、老人デイサービスセンター条例の廃止、特別養護老人ホームほほ笑よしかわの里条例の廃止、財産の無償譲渡(22件)

この一連の議案は、第4次行革大綱に定める公の施設の再配置計画に基づいて、施設を廃止あるいは民間譲渡ないしは目的変更を行うものです。

公の施設は、市民生活の向上や維持に必要なものであれば、責任を持って維持存続を図ることが行政の基本的な役割です。そこで、日本共産党議員団は、公の施設の再配置計画に関する提言を発表し、再検討すべきであるとしました。ところが、今回の議案は、こうした市民の立場に立ったやり方

ではなく、政府の行政リストラ策を鵜呑みにして目先の行政効率のみを考えたものであると言わざるを得ません。

安塚ほのぼの荘条例の一部改正

利用時間ならびに開館日が大幅に縮小され、実質的に利用者の利便性が低下します。

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正、職員の退職手当に関する条例等の一部改正、特別職の職員の退職手当に関する条例の一部改正

この3議案は、政府の地方公務員給与減らしの押しつけを基にしており、働く者の所得をさらに落ち込ませ、地域経済を疲弊させ、再生を困難にするものです。

市税条例の一部改正

この改正で、県民税分と合わせて平成26年から10年間、毎年、市民一人当たり1000円の増税になります。

介護保険条例の一部改正

介護認定審査会委員数に上限を設け、認定審査にあたる合議体の委員数を減員するものです。これまで通り、他市町村よりも充実した合議体で認定審査を行うべきです。

母子及び父子福祉金支給条例の廃止

一人親世帯への入院の際の見舞金を廃止するというものです。

新市建設計画の変更

(仮称)厚生産業会館建設が入っているほか、本来ならば市が責任をもつべき福祉施設に関し、民間への譲渡等を容認した公の施設の再配置計画や職員の大幅削減をめざした定員適正化計画の推進を前提にしています。



上越科学館で3月30日、巨大恐竜模型が披露目されました。これは、上越科学館の第二展示室Gゾーンが、新たにゾーンタイトルを「生命の進化と環境」として全面リニューアルし、最新技術でリアルに動くティラノサウルスの模型が設置されたものです。

この日10時からのオープニングセレモニーには、春日新田小、小猿屋小の児童たちが招かれ、市長や議長とともに、5人の児童代表がテープカットを行いました。

この後、参加者全員が恐竜の前に移動し対面、「恐竜博士」(永井克行館長)から説明を受けました。この時は恐竜もじつとしていた。説明が終わった後、館長が恐竜に語りかけると突然大きなうなり声とともに児童に向かって大きな口をあけました。巨大な体が向かってくると、泣き出す子どもも。「動く恐竜」は約1500万円をかけて上越科学館に設置されたもので、学芸員が説明をしてくる予定です。

上越科学館に巨大恐竜お目見え

糸魚川市議選本予告示

糸魚川市で、市長選挙、市議会議員選挙が、本予告示されました。日本共産党の池田たつお氏(能生地区)、新保みねたか氏(糸魚川・青海地区)は、TPP反対、消費税増税反対、市民の暮らし守れと、連日市民に熱心に訴えています。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.359 2013年4月14日

連絡先

- 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
- 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
- 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)